


夢のかけ橋


高知県教育だより ～ 第 17 号 ～



平成 23 年

7

2011.7



南海地震に備えた防災教育のすすめ

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、津波の恐ろしさを目の当たりにし、子どもたちが、いざという時に身の安全を守ることができるよう、「判断し、行動できる力」を育む防災教育の重要性を再認識することとなりました。南海地震に備えて、いざという時に子どもたちが「自分で自分の命を守る」ことができるよう、各学校等で発達段階に応じた防災教育を、これまで以上に推進していかねばなりません。

同時に、「学校防災マニュアル」を再点検し、実効性のあるものにしていくことが必要です。

避難訓練を通じた「学校防災マニュアル」の点検・強化

県教育委員会では、各学校の避難場所・避難経路を再確認し、「学校防災マニュアル」の点検・強化を図るため、4月18日付けで各学校における避難訓練の早期実施を要請し、5月末には避難訓練実施状況調査を行いました。

今回の避難訓練では、津波浸水の想定をこれまでより高くし、避難場所を一段高い所へ変更したり、設定を変えて数回訓練を行ったりするなど、これまで以上に緊張感を持って行われ、多くの学校で避難場所や避難経路の再検討が行われました。



机の下にもぐって！



裏の山まで走って！



全員いますか？ 確認・報告！

南海地震に備えた避難訓練実施状況調査

1 調査の目的

県内の保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校（以下「学校等」と表記）における、南海地震に備えた避難訓練の実施状況に関する調査を行い、各学校等の避難訓練等の状況を把握し、課題を明確にするとともに、今後の対策の方向性を検討するための基礎資料を得る。

2 調査対象（695校）

保育所（へき地保育所含む）	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
265園	48園	216校	114校	38校	14校

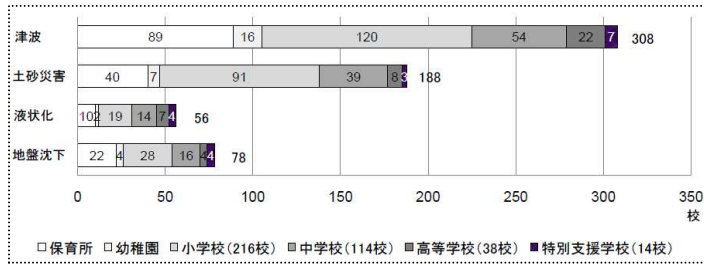
※ 小・中・高・特別支援学校は全て公立

3 調査実施期

平成23年5月～6月

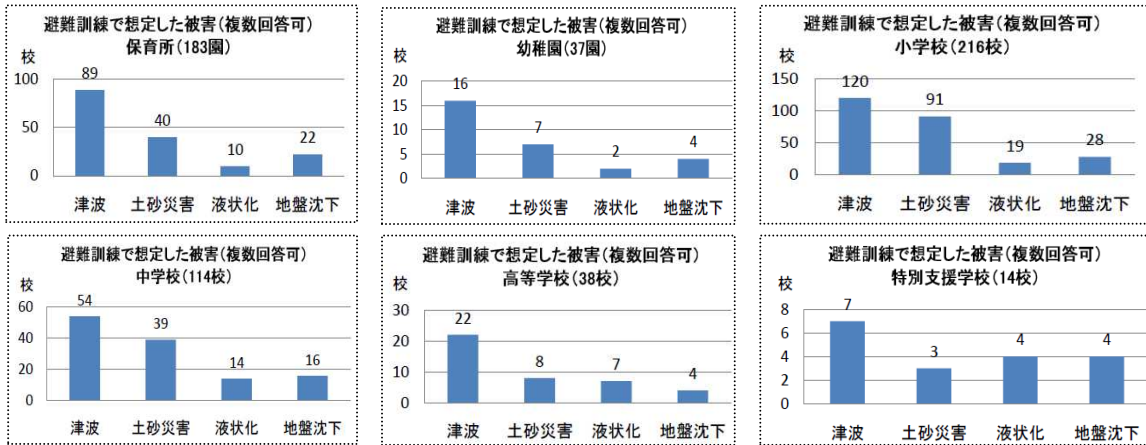
4 調査結果

(1) 避難訓練で想定した被害

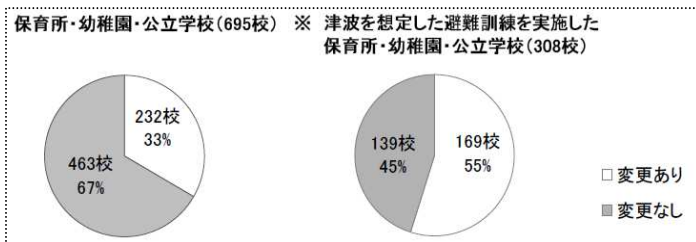


訓練で想定した被害としては、「津波」が最も多く、また、「土砂災害」を想定した学校等も半数以上ありました。

津波や土砂災害、地盤沈下など、複数の被害が想定される学校等もあり、あらゆる場面を想定したマニュアルの強化が必要です。



(2) 避難場所を変更した学校等



今回の避難訓練では、より厳しい被害想定で実施し、避難場所を変更した学校等も232校（約33%）ありました。

特に、津波を想定して避難訓練を実施した学校等では、約55%が避難場所を変更するなど、これまで以上に危機感を持って津波への対応が検討されています。

(3) 学校防災マニュアルについて

学校防災マニュアルの作成 (640校 92.1%)

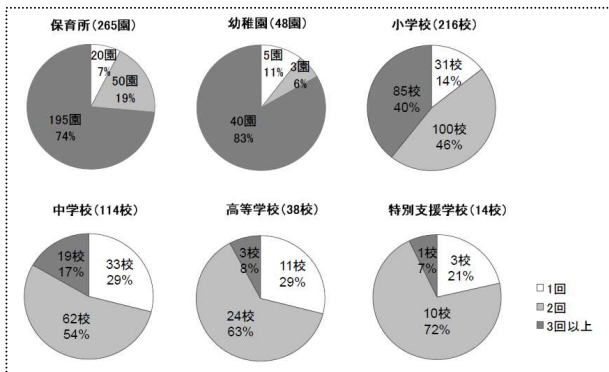
施設種別	作成数	作成率
保育所(265園)	215	81.1%
幼稚園(48園)	43	89.6%
小学校(216校)	216	100.0%
中学校(114校)	114	100.0%
高等学校(38校)	38	100.0%
特別支援学校(14校)	14	100.0%

※ 学校防災マニュアルの充実・強化が必要 (439校 68.6%)

施設種別	必要数	必要率
保育所(265園)	178	67.2%
幼稚園(48園)	37	77.1%
小学校(216校)	122	56.5%
中学校(114校)	59	51.8%
高等学校(38校)	33	86.8%
特別支援学校(14校)	10	71.4%

「学校防災マニュアルの強化」を課題として挙げた学校等は約63%でしたが、今後、すべての学校等で訓練を通して見直しを行い、いざという時に対応できるような「学校防災マニュアル」にしていくことが県全体の課題でもあります。

(4) 年間の避難訓練実施予定



本年度の避難訓練の実施予定では、1回だけでなく複数回実施する学校等が多くなっており、小学校86%、幼稚園89%、保育園では約93%と、年齢が下がるほどその割合が高くなっています。

子どもたちに正しい知識を身につけさせる防災学習とともに、避難訓練を実施し、いざという時に的確に判断し素早く行動できるようにしておくことが大切です。

(5) 避難訓練を実施しての課題

保育所・幼稚園

<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難経路・・・89園(幼10、保79) <ul style="list-style-type: none"> ・避難経路の確保(狭い、国道等の横断、坂道、崩落等) ・複数の避難経路の確保 ○ 避難場所・・・75園(幼11、保64) <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所の変更(所要時間・標高等) ・津波を想定した複数の避難場所の確保(所要時間・標高等) ○ 一時的な食料等の備え・・・14園(保14) <ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ引き渡すまでの食料、飲料水、おむつ等の備蓄 ○ 防災グッズ・・・17園(幼9、保8) <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメット・ずきんの配備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難方法・・・117園(幼21、保96) <ul style="list-style-type: none"> ・避難体制の充実(地域との連携、時間帯別、年齢別の対応) ・低年齢児の避難に必要な備品の使用・確保(おんぶ紐・避難車など) ・園児の上履きの活用 ・安全確認・点呼方法 ○ その他・・・21園(幼6、保15) <ul style="list-style-type: none"> ・保護者への連絡方法 ・子どもの引き渡し方法
---	--

公立学校(小・中・高・特支)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難経路・・・52校(小32、中16、高3、特支1) <ul style="list-style-type: none"> ・屋上への避難経路の確保(階段や梯子の設置・整備) ・複数の避難経路の確保 ・校舎内の避難経路の確保 ・避難経路の確保・整備(狭い、国道等の横断、遠回り、海沿い、急斜面、崩落等) ○ 避難場所・・・45校(小25、中16、高4) <ul style="list-style-type: none"> ・屋上フェンスの設置 ・屋上の床面の整備(人が上がれる構造) ・避難場所の確保・整備(所要時間、標高、広さ、土砂災害警戒区域) ○ 緊急地震速報受信器の設置、防災無線の整備・・・7校(小4、中1、高2) ○ 避難生活への備え・・・36校(小19、中9、高6、特支2) <ul style="list-style-type: none"> ・飲料水・食料の備蓄 ・医薬品・子どもが常用している薬の備蓄 ・毛布・暖房等の防寒対策 ・備蓄スペースの確保 ・簡易トイレの確保 ・発電機等の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災グッズ・・・33校(小15、中6、高12) <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメット・ずきんの配備 ・ライフジャケットの配備 ・懐中電灯の配備、非常灯の設置 ・ラジオの配備 ○ 地域や近隣校と連携した防災教育・・・36校(小25、中7、高2、特支2) ○ より安全性を高めるための避難経路・避難場所検討 ・・・115校(小63、中28、高19、特支5) ○ 避難方法・・・133校(小65、中35、高25、特支8) <ul style="list-style-type: none"> ・被害状況の把握・避難場所等の安全確認 ・場所別・状況別の対応行動 ・教職員の役割分担 ・情報把握・情報伝達方法 ・安全確認・点呼方法 ・要援護者への対応 ○ その他・・・44校(小33、中8、高2、特支1) <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・関係機関への連絡方法 ・子どもの引き渡し方法
---	--

校長が変われば
学校が変わる。

ミドルリーダーが元気
なら物事がうまく進む。

学力向上の鍵は校内研修!! ～ワークショップ型手法を用いて校内研修を活性化しよう～ 高知県教育センター

学校の組織力を高め、本県の教育課題を改善するため、本年5月16日・19日に実施した小・中学校研究主任研修を、6月2～6日に実施した小・中学校校長研修とリンクさせ、共通の講師による講義・演習を行いました。校長と研究主任が共通の方向を目指し、共通の手法をもって取り組むことで、組織的な校内研修をねらいとしたものです。

講師 鳴門教育大学 村川雅弘教授

演題「カリキュラム・マネジメントを基盤としたワークショップ型手法による校内研修の活性化」

村川先生は、小・中学校学習指導要領の「総合的な学習の時間の解説」の作成協力者です。また、ワークショップ型校内研修による学校改善で大きな成果を挙げた**東京都東村山市立大谷小学校**の理論的基盤にもなっている方です。

先生は、高知県の学力向上には、校長のリーダーシップによるマネジメントが必要不可欠であり、校内研修の活性化が鍵になると熱く語っていただきました。

夏季休業中は、1学期の取り組みを振り返り、今後の取り組みを改善するための校内研修を行う好機です。県内全ての小・中学校が参加したこの研修を生かし、成果を教育センターにお知らせください。

研修の感想

ある校長から「研究推進に向けて研究主任と日常的にコミュニケーションを図るようになった。」という声が教育センターに届きました。また、「今年は校内研修がにぎやかやと思わん?」「うん、ワイワイガヤガヤと活発にできゆうね。」など、先生方の校内研修への参画意識が高まっているという情報を教育事務所からもいただいています。

ワークショップ型研修のメリット

- ① 全員が主体的に参加できる。
- ② 課題解決のプロセスで互いに力量を高め合うことができる。
- ③ 協働による課題解決の場が生まれる。



わくどき!ショートコメントコンテスト ～児童生徒の作品、大募集!～

このコンテストは、県内公立小・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に実施します。「きっとある キミの心に ひびく本」に紹介されている図書を読んで、児童生徒が思ったこと、考えたこと等を、届けたい誰かに伝えるというコンテストです。

作品募集は、9月～10月に、そして、審査・結果発表と表彰を11月に行います。応募作品は、市町村(学校組合)教育委員会(県立学校は県教育委員会)を通じて、提出してください。ふるってご応募ください。

平成23年度算数・数学思考オリンピック～思考オリンピックへの参加、大募集～

この思考オリンピックは、県内公立小・中学校の児童生徒(小学校は4年生以上)を対象に実施します。算数・数学の「考える」「解く」ことの楽しさを実感するとともに、多様な考え方ができる問題に対して、児童生徒がどう考えたのか、どのような方法を使って解いたのか、答えを求めるまでの過程を大切にしたいと考えています。

募集は9月中、実施は10月中、審査・結果公表と表彰を11月に行います。応募及び解答は市町村(学校組合)教育委員会(県立学校は県教育委員会)を通じて、提出してください。ふるってご応募ください。

◎行事予定(8月、9月の主なもの) <注>現時点での予定です。日程の都合により変更される場合があります。

平成23年8月

- 1日 学校安全教室推進講習会(高知市 ふくし交流プラザ 10時～)
ダンス指導者講習会(高知市 県民体育館 9時30分～)
- 2日 武道「相撲」指導者講習会(高知市 県民体育館 9時30分～)
中学校生徒指導主事会(高知市 高知会館 10時～)
- 6日 PTA・教育行政研修会<香美・香南地区>(香南市 香我美市民館 13時30分～)
- 8日～11日 体育実技指導者講習会(高知市 県民体育館ほか 9時30分～)
- 8日 防災教育研修会<中部地区>(高知市 ふくし交流プラザ 10時～)
- 9日 // <東部地区>(安田町 安田町文化センター 10時～)
- 10日 // <西部地区>(黒潮町 ふるさと総合センター 10時～)
県立中学校教科用図書採択研修会(高知市 県庁西庁舎教育委員室 9時～)
- 16日 第2回県立学校長会議(高知市 教育センター分館 10時～)
- 18日 第48回全国高等学校美術・工芸教育研究大会2011高知大会
(高知市 日航高知旭ロイヤルホテル 9時30分～)
第52回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会(高知市 県民文化ホール 9時45分～)
- 19日 // (高知市 高知新坂急ホテルほか 9時30分～)
- 25日・26日 西日本地区国語問題研究協議会(高知市 県民文化ホール 12時30分～)
- 26日 「性に関する指導普及推進」指導者研修会(高知市 高知城ホール 10時～)
- 27日 幼児期の運動遊びプログラム研修会(香南市 青少年センター 14時～)
- 29日 学校保健研修会(高知市 高知会館 13時～)
定例教育委員会(高知市 県庁西庁舎教育委員室 13時～)
- 31日 高知県人権教育推進協議会(高知市 高知会館 13時30分～)

平成23年9月

- 3日 幼児期の運動遊びプログラム研修会(高知市 教育センター分館 14時～)
- 15日 中国四国地区教育研究所連盟研究協議会高知大会(高知市 高知会館 12時30分～)
定例教育委員会(高知市 県庁西庁舎教育委員室 13時30分～)
- 17日 幼児期の運動遊びプログラム研修会(黒潮町 ふるさと総合センター 14時～)
第66回国民体育大会高知県選手団壮行式(高知市 県民体育館 15時30分～)
- 24日 幼児期の運動遊びプログラム研修会(須崎市 市民文化会館 14時～)

編集後記

「夢のかけ橋」第17号をお届けします。
クマゼミの鳴き声とともに暑い夏がやってきました。夜間、室内での熱中症の発症例も多いそうです。大人達も体調管理を心がけ、この厳しい暑さを乗り切っていきましょう。

本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

教育委員会ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

<発行者>

高知県教育委員会事務局
教育政策課

(TEL) 088-821-4731

(FAX) 088-821-4558



(E-mail) 310101@ken.pref.kochi.lg.jp